

1. 上伊那地域

1-1 地域特性など

- 上伊那地域は県の南部に位置し、中央アルプスと南アルプスに挟まれた伊那谷に市街地が形成されています。伊那谷の中央を南北に天竜川が流れています。
- 南側に接する南信州地域と北側に接する諏訪地域との流動が非常に多く、この他に松本地域との流動も比較的多くあります。権兵衛トンネルの開通により西側に接する木曾地域とのアクセスも良くなり、新たな人の流動が生まれています。東側では山梨県、静岡県とも接していますが、南アルプスを隔てており、人の流動は少ないです。
- 商業施設、病院、高等学校などがまとまって立地している地区として、圏域の中心地である伊那市中心部のほか、地域の北側から辰野町中心部、箕輪町中心部、駒ヶ根市中心部などがあります。
- 主な観光地としては、高遠城址公園、駒ヶ根高原、中央アルプス千畳敷、大芝高原、もみじ湖（箕輪ダム）などがあります。また、伊那市長谷地区などは南アルプス登山の起点にもなっています。

1-2 地域公共交通の概況

- J R 飯田線が南北を縦貫し、北は辰野町で J R 中央本線辰野支線に接続、南は南信州地域、静岡県内を経て、愛知県豊橋市で J R 東海道本線に接続しています。
- 中央自動車道を走る高速バス路線が充実しており、新宿行、名古屋行は 1 日を通じて多くの便の運行があります。県内路線としては飯田市から長野市を結ぶみすずハイウェイバスが運行しています。
- 路線バスとしては J R バス関東が運行する高速線があり、日 12 往復の運行が確保されています。また、定住自立圏（伊那市・箕輪町・南箕輪村）構想に基づく広域系の路線として伊那本線の運行が平成 29 年より開始されています。
- この他に、市町村界を跨ぐコミュニティ路線が 10 路線あります。各居住区から J R 飯田線の主要駅などを結んでいます。

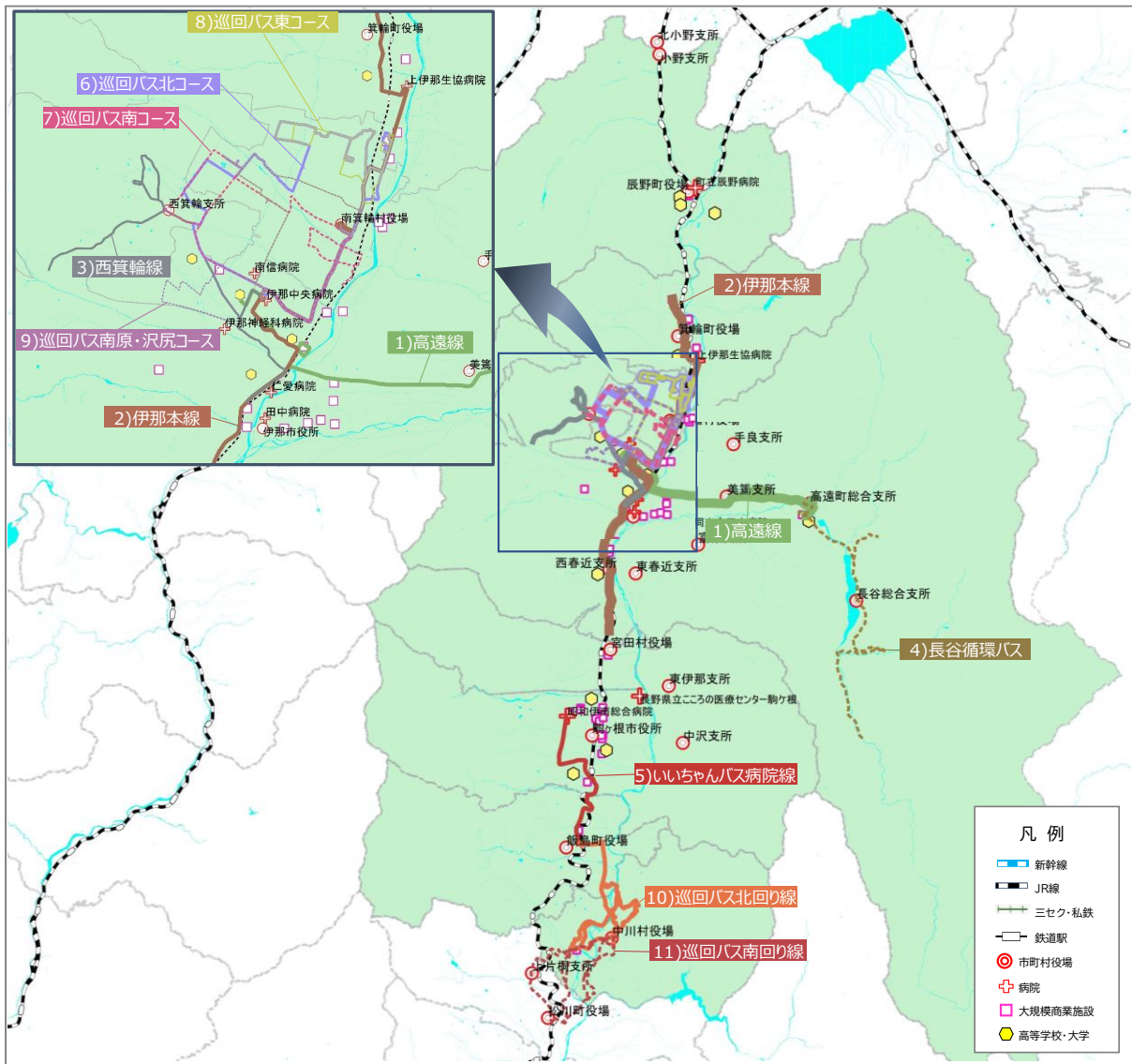
1-3 地域公共交通の課題

- 地域の日常生活においては、伊那市街地、駒ヶ根市街地等へのアクセスが必要で、そのために、J R 飯田線の各駅へのアクセスが担保されていることが非常に重要となります。J R 飯田線にアクセスすることで、飯田市、岡谷市、塩尻市など地域外への移動にも対応できます。
- 重要な役割を担う J R 飯田線ですが、地域の軸を担う路線としては運行本数は多くなく、所要時間が長いことも支障事項となっています。利用者数が減少していることから、J R 飯田線活性化期成同盟会で利用促進など沿線地域の活性化に努めています。また、鉄道以外の移動手段として、高速バスを活用したネットワーク構築の検討も重要になると考えられます。
- 松本方面や長野方面など、県内での広域的な移動に際しては、みすずハイウェイバスも活用されていますが、コロナ禍による利用者減を受けて令和 2 年より減便されており、利便性が低下しています。
- 広域的に運行する路線バスについては、地域間幹線系統補助の補助要件に合致するものもあるとみられ、活用することで路線を維持しやすくなる可能性も考えられます。
- 主な観光地へのアクセスについては、バス路線が確保されている所が多いものの、地域内には他にも観光資源が多数あり、二次交通が不足している観光地もみられます。
- 産業の活性化や交流人口の拡大など、リニア中央新幹線開業の効果を最大限に活かすため、リニア中央新幹線長野県駅（仮称）からの広域二次交通の整備が必要です。

市町村界を跨ぐ主なバス路線の状況

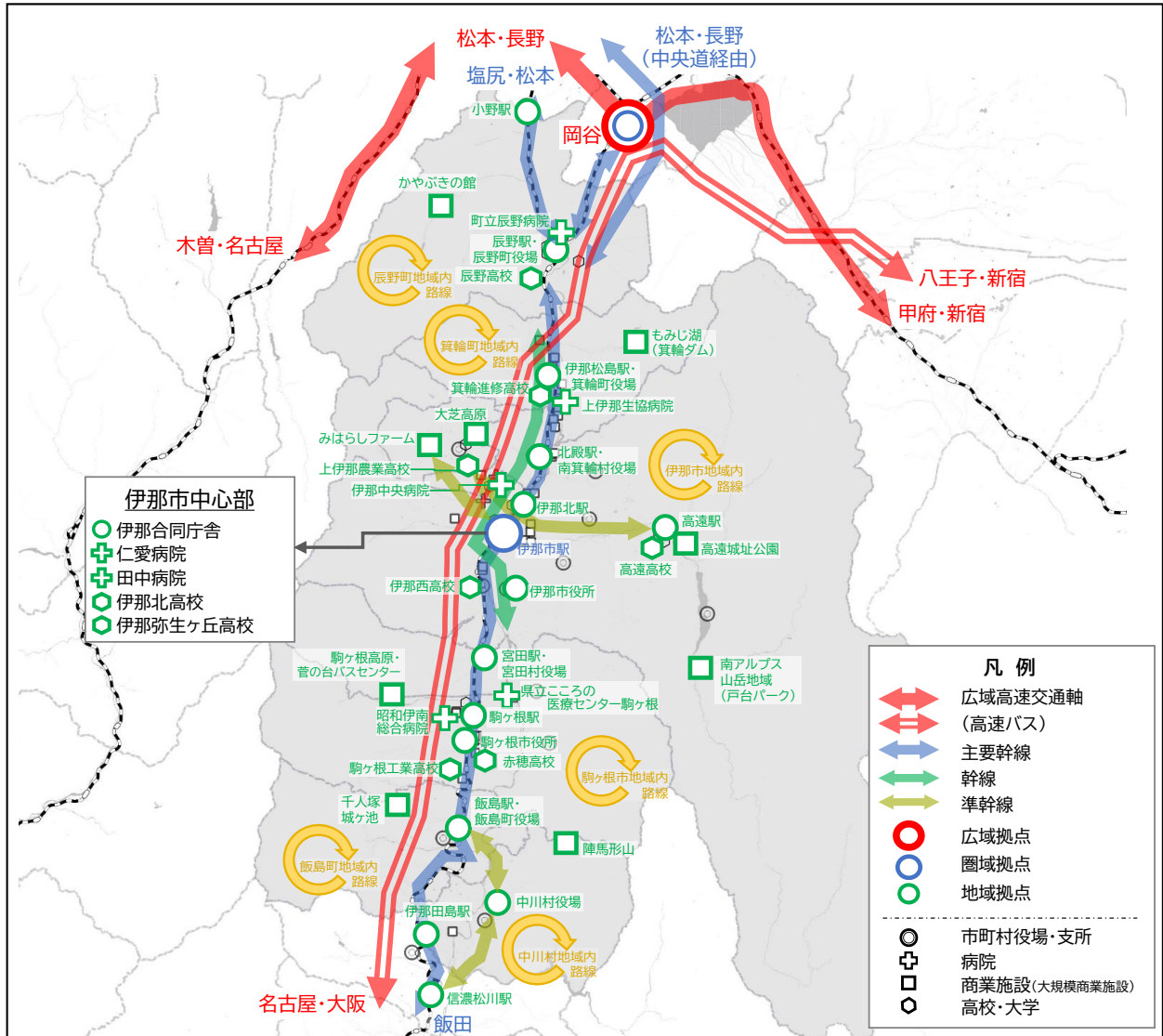
令和 5 年 10 月 1 日現在
 (データの年次は令和 4 年度のもの。ただし地域間幹線系統の国庫補助額は令和 6 年度申請のもの)

No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線距離 (km)	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)	
1	事業者路線 (その他一般路線)	J Rバス関東	高遠線	14.0	10.2	68,636	40.5%		
2	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	伊那バス・J Rバス関東	伊那本線	26.1	5.5	18,895	10.5%		
3		伊那バス	西箕輪線	24.4	4.0	29,135	25.6%		
4		J Rバス関東	長谷循環バス	25.0	2.0	3,793	8.3%		
5		セブン自動車	いいちゃんバス病院線	12.8	2.6	2,186	5.0%		
6		伊那バス		巡回バス北コース	26.6	1.3	10,461	2.7%	
7				巡回バス南コース	20.1	1.9			
8				巡回バス東コース	25.5	1.9			
9				巡回バス南原・沢尻コース	20.6	2.6			
10		中川村(村直営)		巡回バス北回り線	22.5	4.0	9,702	10%	
11				巡回バス南回り線	15.5	6.7	11,596	10%	



1-4 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点		
拠点	①広域拠点		○三大都市圏などと直接アクセス可能な交通結節点	—	—	
	②圏域拠点		○圏域の中心市町の交通結節点	伊那市	・伊那市駅	
	③地域拠点		○各市町村中心部の交通結節点 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ③地域拠点(病院) ③地域拠点(高校) ③地域拠点(観光地) </div>	伊那市	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那北駅 ・高遠駅 ・伊那市役所 ・伊那合同庁舎 伊那中央病院 仁愛病院 田中病院 伊那北高校 伊那弥生ヶ丘高校 伊那西高校 高遠高校 みはらしファーム 高遠城址公園 南アルプス山岳地域
					駒ヶ根市	<ul style="list-style-type: none"> ・駒ヶ根駅 ・駒ヶ根市役所 昭和伊南総合病院 県立こころの医療センター駒ヶ根 赤穂高校 駒ヶ根工業高校 駒ヶ根高原 菅の台バスセンター
					辰野町	<ul style="list-style-type: none"> ・辰野駅 ・辰野町役場 ・小野駅 町立辰野病院 辰野高校 かやぶきの館
					箕輪町	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那松島駅 ・箕輪町役場 上伊那生協病院 箕輪進修高校 もみじ湖(箕輪ダム)
					飯島町	<ul style="list-style-type: none"> ・飯島駅 ・飯島町役場 仙人塚城ヶ池
					南箕輪村	<ul style="list-style-type: none"> ・北殿駅 ・南箕輪村役場 上伊那農業高校 大芝高原
					中川村	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那田島駅 ・中川村役場 陣馬形山
					宮田村	<ul style="list-style-type: none"> ・宮田駅 ・宮田村役場 駒ヶ根高原 菅の台バスセンター



区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な路線
軸・路線	【A】広域高速交通軸		三大都市圏と県内の広域拠点を接続	高速バス ・中央道 高速バス [アルピコ交通ほか]
	【B】主要幹線		隣接県と県内や県内の広域拠点を接続	鉄道 ・飯田線[JR東海] ・中央東線辰野支線[JR東日本]
				バス ・みずずハイウェイバス [アルピコ交通、伊那バス、信南交通]
	【C】幹線		圏域拠点と地域拠点を接続	バス ・伊那本線(検討中) [伊那バス、JRバス関東]
	【D】準幹線		地域拠点と地域拠点を接続	バス ・高遠線[JRバス関東] ・西箕輪線[伊那バス] ・巡回バス北回り線[中川村] ・巡回バス南回り線[中川村]
【E】支線		地域拠点と目的施設を接続	バス ・各市町村のコミュニティ交通	

1-5 保証すべき品質

1-4 で掲げた各連携軸は、次の水準での整備を目指します。

種別	品質保証の基本的な考え方			設定する水準		
	通院	通学	観光	運行日	運行時間帯	運行本数
【B】主要幹線 [JR 飯田線]	上伊那地域の各駅を出発し圏域内及び隣接圏域の病院に午前中に到着。診療を終え、午後の早い時間に帰宅できる便がある。	伊那市駅を出発し隣接圏域の高校へ始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	※今年度の計画更新では保留	平日・土休日とも（同水準で運行）	概ね 5～23 時	20 往復/日程度
【B】主要幹線 [みすずハイウェイバス]	広域的な交通機関の位置づけであり、日常の通院利用は見込まない。	広域的な交通機関の位置づけであり、日常の通学利用は見込まない。	※今年度の計画更新では保留	平日・土休日とも（同水準で運行）	概ね 5～18 時	4 往復/日程度
【C】幹線	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは[E]支線への乗継ぎにより圏域内の病院に午前中に到着。診療を終え、午後の早い時間に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線居住区を出発して圏域内の高校に始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	※今年度の計画更新では保留	平日・土休日とも（休日については減便を許容）	概ね 6～20 時	10 往復/日程度（平日）
[C']みなし幹線は上伊那地域では該当なし(管内すべての市町村に飯田線の駅があり圏域拠点に接続可能)						
【D】準幹線	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは[E]支線への乗継ぎにより圏域内及び隣接圏域の病院に午前中に到着。診療を終え、午後の早い時間に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線居住区を出発して圏域内または近隣圏域への高校に始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	※今年度の計画更新では保留	平日・土休日とも（休日については減便を許容）	概ね 6～20 時	10 往復/日程度（平日）
【E】支線	[E]支線の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を以下に掲げる					
【E】支線	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは[B]主要幹線、[C]幹線への乗継ぎにより圏域内の病院に午前中に到着。診療を終え、午後の早い時間に帰宅できる便がある。	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは[B]主要幹線、[C]幹線への乗継ぎにより圏域内の高校に始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	※今年度の計画更新では保留	平日・土休日とも（休日については減便・運休を許容）	概ね 7～18 時	6 往復/日程度（平日）